科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DD312／パフォーマンス文化論 (Cultural Theory on Performing Arts)		
担当者名 (Instructor)	飯岡　詩朗(IIOKA SHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CCS3410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

私たちの認識を更新するだけでなく現実を(再)構成する力を持つ、芸術表現におけるパフォーマンスおよび文化的・社会的実践としての演技／パフォーマンスの可能性を理解することを目標とする。

Students will understand potentials of performing arts and acting/performance in cultural and social practices, which will not only renew their understanding of daily life but also (re)construct their realities.

授業の内容(Course Contents)

社会学をはじめ、多様な学問領域における演技／パフォーマンスをめぐる議論から発展した英語圏における「パフォーマンス研究」の視座から、様々な〈テクスト〉を分析し、日常生活とパフォーマンスの関係性、現実世界の演劇性等を明らかにしていく。

Students will analyze various texts from the standpoint of "Performance Studies," an interdisciplinary field of research that draws from the social sciences, the humanities, and the arts. They will also clarify the relationship between everyday life and performance, and theatricality of the real world.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 「パフォーマンス」とは何か
3. 「パフォーマティヴ／パフォーマティヴィティ」とはなにか
4. 国民国家とパフォーマンス
5. 抗議運動(デモ)とパフォーマンス
6. 公民権運動とパフォーマンス(1):バスボイコット運動
7. 公民権運動とパフォーマンス(2):シットイン運動ほか
8. ジェンダーとパフォーマンス(1):「母性」
9. ジェンダーとパフォーマンス(2):ファッション
10. 人種(パッシング)とパフォーマンス
11. 「演じる」を体験する
12. ドキュメンタリー映画とパフォーマンス
13. ドキュメンタリー映画制作とパフォーマンス
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

Blackboard 等で随時指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/中間レポート(2 回)(30%)/レスポンス・シート(30%)
3 回を超える欠席がある場合、すべてのレポート(小レポート含む)の提出がない場合は、成績評価を行なわない(単位を認めない)。レスポンス・シートでの代返やレポートでの剽窃(いわゆるコピペ)を行った場合、回数にかかわらず成績評価を行なわない(単位を認めない)。

テキスト(Textbooks)

なし。必要に応じて授業内で資料を配布ないし共有する。

参考文献(Readings)

1. リチャード・シェクナー、1998、『パフォーマンス研究　演劇と文化人類学の出会うところ』、人文書院 (ISBN:9784409100097)
2. 高橋雄一郎、2005、『身体化される知　パフォーマンス研究』、せりか書房 (ISBN:9784796702621)
3. エリカ・フィッシャー=リヒテ、2009、『パフォーマンスの美学』、論創社 (ISBN:9784846003289)
4. E・ゴッフマン、1974、『行為と演技　日常生活における自己呈示』、誠信書房 (ISBN:9784414518016)
5. Richard Schechner. 2020. *Performance Studies: An Introduction* [4th ed.]. Routledge (ISBN:9781138284562)
その他、授業内で随時紹介する。

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

・授業計画は変更することがある。
・感染症の拡大状況によっては、主にオンラインで実施とすることがある。
・授業計画は変更することがある。
・英語文献を使用することがある。
・感染症の罹患による出校停止および裁判員制度に基づく裁判所への出頭をのぞく事由による欠席は、原則として通常の欠席と同様にあつかう。なお、病気・怪我による入院や忌引、教育実習等、追試験対象となるやむをえない事由による欠席については、追試験受験申請の際に添付を求められる証明書類の提出をもって適宜考慮する。

注意事項（Notice）